用やちまなこ

2022. 5.15 発行 No.294

5月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター(あるこっと)だより



キタサンショウウオ 卵塊[Salamandrella keyserlingii]

4月下旬、氷河期の生き残りとして名高い、キタサンショウウオが静かに種の存続を終えた。「湿原のサファイア」と称される、その青い輝きは、一日のものと言います。

湿原草原では夏鳥たちが次々と渡ってきて、巣作りや次なる旅の準備に勤しんでいる。

5月に入ると、春の花も最盛期を迎え、蜜を集めるハナバチたちが、センターの周りを飛翔しはじめた。



塘路フィールドノート【4/15~5/14】

【野鳥】

冬鳥の姿が少なくなり、今年も夏鳥の季節がやってきました。湖畔や森の中で、夏鳥たちが春を謳歌しています。



タンチョウ&アオサギ (コロニー下) 悪気なくコロニーに近づいたタンチョウ親子に、 勇敢なアオサギが威嚇飛行を繰返していた



ノビタキ(サルルントー) この時季もっともよく見かける夏鳥。この 個体は雄。雌雄異色



アオジ (塘路湖畔) 水辺や地上で何やら啄んでいた。樹上では 囀りも確認した



カワラヒワ(塘路湖畔) 飛ぶときのキリリリという独特な囀りで、 存在に気付くが、すぐに飛び去ってしまう



<u>オオジシギ(サルルントー)</u> ディスプレイ・フライトが目立つようになっ た。この個体は樹上で盛んに囀っていた



ユムクドリ(塘路湖畔) 5月に入り、センター周辺で見かけることが多くなった。地面の虫を食べている。

【植物】 当館周辺で春の花が咲き始め、春の花 第二弾というところでしょうか。山では山菜として 有名なギョウジャニンニクやクサソテツ (コゴミ) も見かけるようになりました。



エゾヤマザクラ [蝦夷山桜] 5月上旬になり、ようやく咲き始めたが、 道東の桜の季節は短いようだ



エゾオオサクラソウ [蝦夷大桜草] サルボで少数を確認。鮮やかなピンク色の 花は圧倒的な存在感があります



<u>キバナノアマナ [黄花甘菜]</u> センター近くで少数を確認した。少し小さ いエゾヒメアマナより、少し早く咲く

【昆虫】

春の花々が最盛期を迎え、蜜を蓄える花が咲くと、マルハナバチやチョウたちも活動を始める。



た女王蜂



の蜜を吸うアブの仲間



クジャクチョウ [孔雀蝶] 成虫で越冬する春型のタテハチョウの仲間 は、春になると真っ先に飛び始める。

) 早春のシラルトロ湖畔で野鳥を観祭

4月23日(土)は、早春のシラルトロ湖畔で野鳥観察会が催され ました。例年この時期の観察会ではヒシクイやオオハクチョウなどの 水鳥の観察がメインとなるのですが、この日は強風で湖面に白波が立 つ生憎のコンディション。カモの仲間はほとんど確認できず、ヒシク イやオオハクチョウも遠くの姿をかろうじて確認できる程度でした。 そこで夏鳥の探索に切り替えることにしましたが、残念ながらこち らの成果も今一つ。ただその一方で、これまでほとんど確認例がな かったメジロやコアカゲラが観察されるといううれしいサプライズ がありました。2時間ほどの観察で確認できた種は昨年より少ない 20種だったものの、今回は「量(確認種数や個体数)より質(珍し い野鳥の確認)」の部分が印象的で、例年とは一味違った面白さを感 じられた観察会となりました。 確認種 20 種 参加者 11 名



の開発可用辺でかられるトンボミラ



5月1日(日)~15日(日)までの 期間、塘路湖エコミュージアムセンター のレクチャールームでは、「標茶でみつ ける身近なトンボ 展」(標茶町博物館と の共催行事)を開催しました。来たるト ンボの季節に向けて、標茶周辺で観られ る代表的なトンボたちをご紹介したほ か、蝶々や甲虫類についても、その生態

や標本にする手法について展示解説されました。



◎続々と飛来する夏鳥と、咲き始めた春の花を探して

5月7日(土)、春の展望台を散策する観察会を開催しました。

春本番のサルボ展望台・サルルン展望台周辺で、飛来したばかりの夏鳥や咲き始めた春の 花々を観察する散策会を実施。この日のテーマは「春を満喫する」。満開のエゾエンゴサク、ちょ うどこの日に合わせたかのように咲き始めたエゾヤマザクラやオオバナノエンレイソウ、そし





て時折聞こえてくるムシクイの仲間や ウグイスのさえずり。次々に現れる春 の風物詩を堪能しながら二つの展望台 を巡った。また、道中で見られるこの 時期ならではの、小さな花々を紹介し たほか、森の中で見られるスミレの見 分け方についての解説も行った。

参加者 13 名

6月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

新緑の湿原 野鳥観察会

[日 時] 6月4日(土)8時~10時

[定 員・参加料] 10名 無料

[開催場所] シラルトロ湖畔・蝶の森(集合はシラルトロ自然情報館駐車場)

◎申込・問合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

初夏の花を見に行こう

[日 時] 6月5日(日) 10時~12時 「定 員・参加料」 10名 無料 [開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問合わせは温根内ビジターセンターまで (0154-65-2323)

◆日出・日入時間 4/15(4:41,18:04). 4/30(4:18,18:22).5/14(4:00,18:38)

~編集後記~

■釧路地方にもようやく桜が咲きはじめ、短い春の訪 れを感じるようになった。夏鳥たちの姿も増えて、森 も賑わいはじめた。久し振りに制限のない連休となっ たが、今年の連休は、なかなか沈静化しないコロナの 影響か、割と静かに過ぎ去ったような気がした。

引き続き、館内利用の際は新型コロナウイルス感染防 止対策に、ご協力の程、よろしくお願いします。

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あるこっと

● 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野 TEL: 015-487-3003 FAX: 015-487-3004

E-mail: emc@hokkai.or.jp

インスタグラム torokoemc Q

開館時間:10:00~17:00

 $(11 \sim 3$ 月:16:00まで)

休館日:毎週水曜日 12月29日~1月3日

入館無料